

西流下河南 1 号污水管渠築造工事

数 量 計 算 書

令和 7 年 6 月

石巻市建設部下水道建設課

西流下河南 1 号污水管渠築造工事

【延長総括表】

延長名	推進 VP200	開削 PRP150	合計	単位	備考
路線延長	137.20	14.00	151.20	m	
管渠延長	133.60	13.85	147.45	m	

工事数量総括表

1/3

工事区分・工種・種別・細別	規格・寸法	単位	数量	設計数量	摘要
管路		式	1		
管きょ工(小口径管推進)		式	1		
低耐荷力泥土圧推進工法					
推進延長	推進用硬質塩化ビニル管VPφ200mm	m	131.40	131.4	
発生土処理		m3	4.81	4	
立坑内管布設工					
硬質塩化ビニル管	VPφ200mm	m	2.20	2.2	
継手類		式	1	1	
仮設備工(小口径)					
坑口(小口径)		箇所	8	8	
鏡切り		箇所	4	4	
推進設備等設置撤去		箇所	4	4	
推進水替工					
推進用水替		式	1	1	
補助地盤改良工					
薬液注入	二重管スレーナ工法,複相式,2セット	本	32	32	
鋼製ケーシング土留工及び土工	両発進立坑,φ2000mm				No.20-2,No.20-4
鋼製ケーシング圧入掘削	φ2000mm	式	1	1	
底盤コンクリート		式	1	1	
圧入掘削設備	φ2000mm	式	1	1	
鋼製ケーシング存置	φ2000mm	式	1	1	
仮設ケーシング損料	φ2000mm,L=2.0m	式	1	1	
立坑排水		式	1	1	
排水運搬処理	汚泥	式	1	1	
円形覆工板	T-25用,φ2000mm	式	1	1	
立坑埋戻し		m3	17.9	17	
発生土処理		m3	34.1	34	
組立マンホール設置工	φ900mm	箇所	2	2	
沈下構築式立坑兼用マンホール工	到達立坑,φ900mm				No.20-1,No.20-3
沈下構築式立坑築造工	φ900mm	式	1	1	2箇所
組立マンホール設置工	φ900mm	箇所	2	2	
管きょ工(開削)(管径150mm)					
管路土工					
管路掘削		m3	18.3	18	
管路埋戻	管下・管周り・管頂, 砕砂	m3	2.9	2	
管路埋戻	RC-40	m3	9.1	9	
発生土処理		m3	18.3	18	
管布設工					
リブ付き硬質塩化ビニル管	φ150	m	13.85	13.8	
継手類		式	1.0	1	
埋設標識テープ		m	13.85	13	

工事区分・工種・種別・細別	規格・寸法	単位	数量	設計数量	摘要
管きょ工(開削)(管径150mm)					
管基礎工					
砕石基礎	W=0.90m,t=0.10m,RC-40	m	13.85	13.8	
管路土留工					
建込簡易土留	H=1.5m	式	1.0	1	L=14.0m
開削水替工					
開削水替		式	1	1	
マンホール工					
小型マンホール工					
レジン製小型マンホール		箇所	1	1	
副管工					
内副管	φ 150-100mm	箇所	1	1	
取付管およびます工					
管路土工					
管路掘削		m3	0.8	0.8	
管路埋戻	管下・管周り・管頂, 砕砂	m3	0.2	0.2	
管路埋戻	RC-40	m3	0.1	0.1	
発生土処理		m3	0.8	0.8	
ます設置工					
ます		箇所	1	1	
取付管布設工					
取付管		箇所	1	1	
取付管水平推進工	さや管推進工法				
特殊材料		式	1	1	
推進機組立据付		箇所	1	1	
鏡切工		箇所	1	1	
さや管推進工		m	11.19	11.1	
排土工		m	11.19	11.1	
推進機撤去工		箇所	1	1	
MCグラウト注入工		m ³	0.24	0.2	
塩ビ管挿入工		m	11.99	11.9	
発生土処理		m ³	0.35	0.3	
ケーシング管推進工					
材料		式	1	1	
ケーシング管推進工		m	2.94	2.9	
ケーシング管排土工		m	2.94	2.9	
塩ビ管挿入工		m	2.74	2.7	
埋戻工		箇所	1	1	0.47 m ³
発生土処理		m ³	0.58	0.5	

西流下河南 1 号污水管渠築造工事

数 量 計 算 書

【推進工法】

令和 7 年 6 月

石巻市建設部下水道建設課

小口径低耐荷力管推進工法・泥土圧式（φ200）

マンホール測点	立坑寸法		マンホール内径		区間延長 (m)	推進延長 (m)	管渠延長 (m)	空 伏 延 長 (m)	SUSカー付き直管 (L=1.0m)			推進用可とう継手			備 考
	上流側 (m)	下流側 (m)	上流側 (m)	下流側 (m)					標準管 (本)	先頭管 (本)	最終管 (本)	ケーシング用 (個)	沈設立坑用 (個)	組立人孔用 (個)	
No. 20-1 ~ No. 20-2	0.90	2.00	0.90	0.90	50.00	48.55	49.10	0.550	48	1	1	1	1		
No. 20-2 ~ No. 20-3	2.00	0.90	0.90	0.90	28.00	26.55	27.10	0.550	26	1	1	1	1		
No. 20-3 ~ No. 20-4	0.90	2.00	0.90	0.90	18.00	16.55	17.10	0.550	16	1	1	1	1		
No. 20-4 ~ No. 21-1	2.00	0.90	0.90	0.90	41.20	39.75	40.30	0.550	39	1	1	1	1		
合 計					137.20	131.40	133.60	2.200	129	4	4	4	4		

砕石防護
シート 2.5
枚/m

マンホール測点	推進工 (m)	溜材 注入工 (m)	掘削 添加材 注入工 (m)	スクリュ類 撤去工 (m)	坑 口 工		鏡切工 1.6m/箇所 (箇所)	推 進 設備工 (箇所)	推 進 設備 据換工 (箇所)	先導体 据付 撤去工 (箇所)	発生土 処分工 (m3)	備 考
					ケーシング用 発進用 (箇所)	到達用 到達用 (箇所)						
No. 20-1 ~ No. 20-2	48.55	48.55	48.55	48.55	1	1	1	1	1	1	1.78	
No. 20-2 ~ No. 20-3	26.55	26.55	26.55	26.55	1	1	1	1	1	1	0.97	
No. 20-3 ~ No. 20-4	16.55	16.55	16.55	16.55	1	1	1	1	1	1	0.61	
No. 20-4 ~ No. 21-1	39.75	39.75	39.75	39.75	1	1	1	1	1	1	1.45	
合 計	131.40	131.40	131.40	131.40	4	4	4	2	2	4	4.81	

6.4m

1m当り数量

・残土処分工： $0.216 \times 2 \times \pi / 4 = 0.0366 \text{ m}^3/\text{m}$

ケーシング (φ2000)																
立坑 No	先頭 ケーシング (t=12mm)		中間 ケーシング (t=12mm)		仮設 ケーシング (t=12mm)		最終 ケーシング (t=12mm)		圧入掘削 積込み (m)	ケーシング 引上げ 0.9m/箇所 (箇所)	底盤コンクリート 3.1m ³ /箇所 (箇所)	ケーシング 溶接 6.3m/箇所 (箇所)	ケーシング 切断 (m)	ケーシング スクラップ (t)	坑口 スクラップ (t)	覆工板 φ2.00用 (組)
	(m)	(本)	(m)	(本)	(回)	(m)	(本)	(m)								
20路線 No. 20-2	3.00	1			1	1.70	1	5.31	1	1	1	12.22	0.91	0.01	1	
20路線 No. 20-4	3.00	1			1	1.60	1	5.28	1	1	11.94	0.87	0.01	1		
計	6.00	2			2	3.30	2	10.59	2	2	24.16	1.78	0.02	2		
									1.8 m	6.2 m ³	12.6 m	1.80				

ケーシング計

9.30 m

20路線No. 20-2 立坑数量計算書

種 別	形 状 ・ 寸 法	算 式	数 量	単 位	備 考
先頭ケーシング	φ2.00m t=12mm	L= 3.00 m	1	本	
中間ケーシング	φ2.00m t=12mm	L= m		本	
最終ケーシング	φ2.00m t=12mm	L= 1.70 m	1	本	
仮設ケーシング	φ2.00m t=12mm	L= 2.00 m	1	回	
圧入掘削積込み	掘削深=5.305m		5.31	m	舗装:県道(主要地方道)
ケーシング引上げ	引上げ長 L= 0.9 m		1	箇所	
底盤コンクリート	V= 3.1 m ³		1	箇所	
ケーシング溶接	L= 6.3 m		1	箇所	
ケーシング切断	GL-1.5m t=12mm	$2.000 \times \pi + 1.485 \times 4$	12.22	m	
ケーシングスクラップ		$1.485m \times 0.615t/m$	0.91	t	$615kg/m \Rightarrow 0.615t/m$
坑口スクラップ	管外径+0.10 0.216m+0.10m	$\frac{1}{4} \times \pi \times 0.316^2 \times$ $0.0942t/m^2 \times 2箇所$	0.01	t	$94.2kg/m^2 \Rightarrow 0.0942t/m^2$
覆 工 板	φ2.00m用		1	組	

20路線No. 20-4 立坑数量計算書

種 別	形 状 ・ 寸 法	算 式	数 量	単 位	備 考
先頭ケーシング	φ2.00m t=12mm	L= 3.00 m	1	本	
中間ケーシング	φ2.00m t=12mm	L= m		本	
最終ケーシング	φ2.00m t=12mm	L= 1.60 m	1	本	
仮設ケーシング	φ2.00m t=12mm	L= 2.00 m	1	回	
圧入掘削積込み	掘削深=5.277m		5.28	m	舗装:県道(主要地方道)
ケーシング引上げ	引上げ長 L= 0.9 m		1	箇所	
底盤コンクリート	V= 3.1 m ³		1	箇所	
ケーシング溶接	L= 6.3 m		1	箇所	
ケーシング切断	GL-1.5m t=12mm	$2.000 \times \pi + 1.413 \times 4$	11.94	m	
ケーシングスクラップ		$1.413m \times 0.615t/m$	0.87	t	$615kg/m \Rightarrow 0.615t/m$
坑口スクラップ	管外径+0.10 0.216m+0.10m	$\frac{1}{4} \times \pi \times 0.316^2 \times 0.0942t/m^2 \times 2箇所$	0.01	t	$94.2kg/m^2 \Rightarrow 0.0942t/m^2$
覆 工 板	φ2.00m用		1	組	

鋼製ケーシング式立坑土工数量集計表

○立坑土工

項目 立坑	土 工					備考
	掘削 (m3)	埋戻し (RC-40) (m3)	残土 (m3)	調整コンクリート		
				コンクリート (m3)	型枠 (m2)	
20路線 No. 20-2	17.08	8.99	17.08	0.14	0.52	小型φ2000 両発進立坑
20路線 No. 20-4	16.99	8.92	16.99	0.14	0.52	小型φ2000 両発進立坑
合計	34.07	17.91	34.07	0.28	1.04	小型φ2000

組立1号マンホール数量集計表(ケーシング立坑部)

工種	種別	細別・規格	数量	設計数量	単位	備考
組立1号マンホール	組立マンホール工	マンホール深 2m以下			箇所	
		マンホール深 2m超～3m以下			箇所	
		マンホール深 3m超～4m以下	2	2	箇所	
		組立1号マンホール	2	2	箇所	
	マンホール用鉄蓋	T-25 φ 600	2	2	個	
	ロック付梯子		2	2	個	H=2.00m以上
	調整金具	1号マンホール	2	2	個	
	調整リング	1号マンホール t=5cm	1	1	個	
		1号マンホール t=10cm	1	1	個	
		1号マンホール t=15cm			個	
		1号マンホール t=30cm			個	
	斜壁ブロック	1号マンホール t=45cm			個	
		1号マンホール t=60cm	2	2	個	
		1号マンホール t=30cm			個	
	直壁ブロック	1号マンホール t=60cm			個	
		1号マンホール t=90cm			個	
		1号マンホール t=120cm			個	
		1号マンホール t=150cm	2	2	個	
		1号マンホール 60cm			個	
		1号マンホール 90cm			個	
		1号マンホール 120cm			個	
	躯体ブロック	1号マンホール 150cm			個	
		1号マンホール 180cm	2	2	個	
		1号マンホール	2	2	個	
	削孔	φ 100mm用	1	1	個	取付管
		φ 150mm用			箇所	
		φ 200mm用	2	2	箇所	本管
	底部工 (1箇所当り)	調整コンクリート BB-18-8-40 (高炉)	0.14	0.14	m3	ケーシング 土工集計 表より
		調整コンクリート型枠	0.52	0.52	m2	ケーシング 土工集計 表より
		インバートコンクリート BB-18-8-40 (高炉)	0.15	0.15	m3	
		モルタル上塗り工 1:2 t=2cm	0.74	0.74	m2	

沈下式立坑土留工数量計算書

20路線

No. 20-1

到達立坑

立坑寸法 (内径) = 0.900m

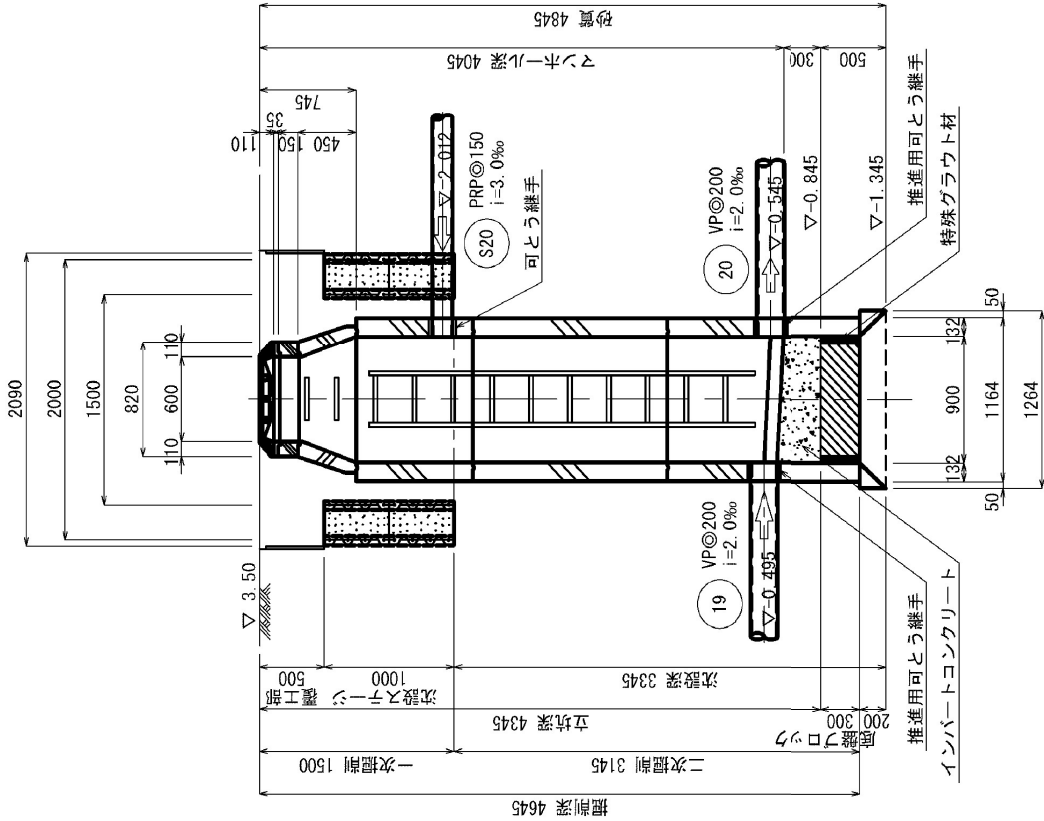
立坑寸法 (外径) = 1.164m

立坑深 = 4.345m

掘削深 = 4.645m

沈設深 = 3.345m

覆土工あり



コンクリートブロック	刃口	φ 900	H= 0.20 m/個	= 1	1 個
	沈設ブロック	φ 900	H= 1.50 m/個	= 2	2 個
	沈設ブロック	φ 900	H= 1.80 m/個	=	個
	増設ブロック	φ 900	H= 0.60 m/個	=	個
	増設ブロック	φ 900	H= 0.90 m/個	= 1	1 個
沈下防止治具	底盤ブロック	φ 900	H= 0.30 m/個	= 1	1 個
	振れ止め治具	φ 900用	=	= 1	1 式
	F R P 製踊り場	φ 900	=	= 1	1 式
	滑材注入工	3.145 × 0.19 m ³ /m	= 0.60	=	0.60 m ³
	底盤フック設置工		=	= 1	1 箇所
底盤グラウト工	底盤グラウト工	0.04 m ³ /箇所	= 1	=	1 箇所
	沈設ステーヂ	φ 900用 (受枠付)	3.48 t	= 1	1 組
	溶接工	1.1m/箇所×3	= 3.3	=	3.30 m
	インバートコンクリート工				
モルタル上塗り工					
ステップ取付工					
	FRP製梯子式(付属品)	3.90-0.80	= 3.10	=	3.10 m
	覆工	円形覆工板 φ2000用	= 1	=	1 組
	うわ水排水工		= 1	=	1 箇所
	排出運搬処理	スライム処理工	= 0.06	=	0.06 m ³

沈下式立坑土留工数量計算書

20路線

No. 20-3

到達立坑

立坑寸法 (内径) = 0.900m

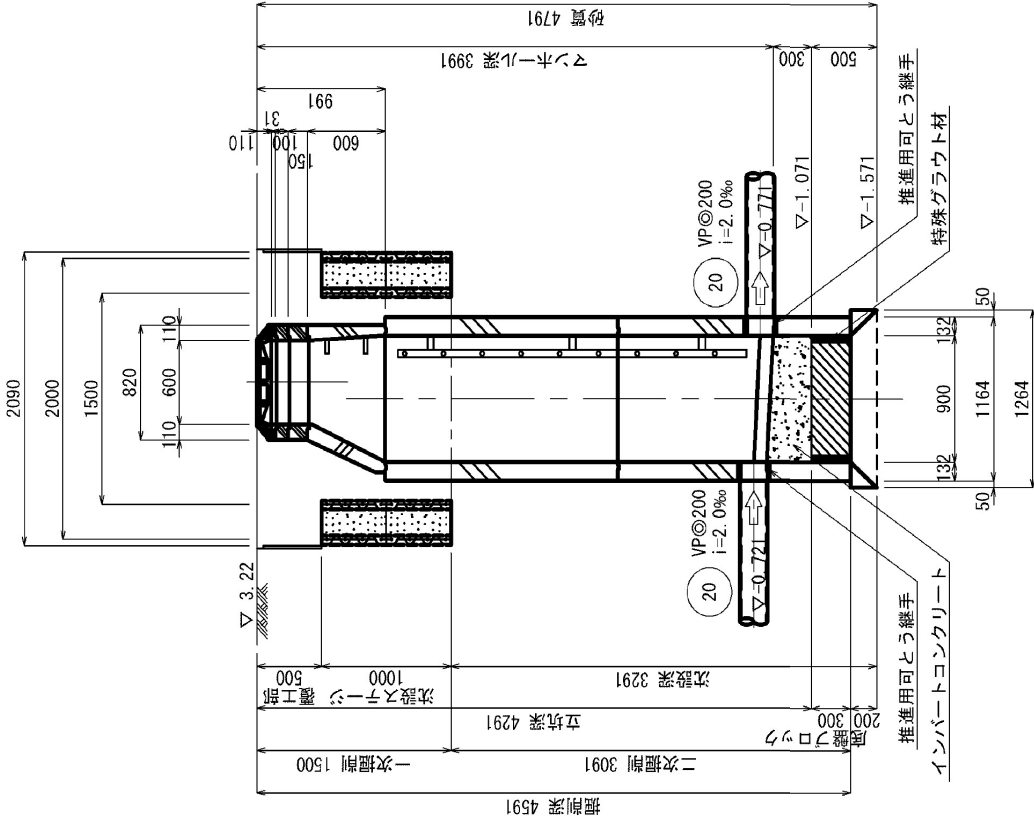
立坑寸法 (外径) = 1.164m

立坑深 = 4.291m

掘削深 = 4.591m

沈設深 = 3.291m

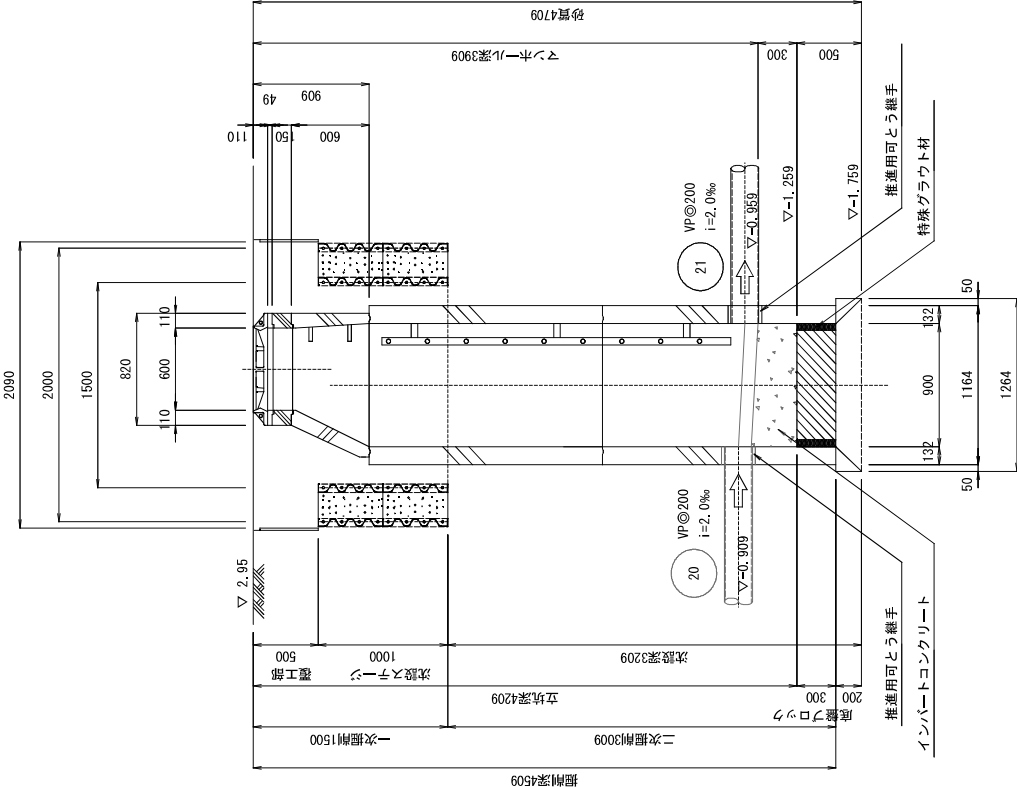
覆土工あり



コンクリートブロック	刃口	φ 900	H= 0.20 m/個	= 1	1 個
	沈設ブロック	φ 900	H= 1.50 m/個	=	個
	沈設ブロック	φ 900	H= 1.80 m/個	= 2	2 個
	増設ブロック	φ 900	H= 0.60 m/個	=	個
	増設ブロック	φ 900	H= 0.90 m/個	=	個
沈下防止治具	底盤ブロック	φ 900	H= 0.30 m/個	= 1	1 個
	振れ止め治具	φ 900用	=	= 1	1 式
	F R P 製踊り場	φ 900	=	=	1 式
	滑材注入工	3.091 × 0.19 m ³ /m	=	= 0.59	0.59 m ³
	底盤ブロック設置工		=	= 1	1 箇所
底盤グラウト工	底盤グラウト工	0.04 m ³ /箇所	=	= 1	1 箇所
	沈設ステージ	φ 900用 (受枠付)	3.48 t	= 1	1 組
	溶接工	1.1m/箇所×2	=	= 2.2	2.20 m
	インハートコンクリート工	インハートコンクリート高 0.30 + (0.20×1/2)	=	= 0.40	
		π/4×0.90 ² ×0.40	=	= 0.25	
モルタル上塗り工		控除 1/2×π/4×0.200 ² ×0.45×2	=	= -0.01	
		π/4×0.90 ²	=	= 0.24	0.24 m ³
		1/2×π×0.200×0.45×2	=	= 0.64	
		控除 0.20×0.45×2	=	= -0.18	
			=	= 0.74	0.74 m ²
スラブ取付工	FRP製梯子式(付属品)	3.60-0.80	=	= 2.80	2.80 m
	覆工工	円形覆工板 φ2000用	=	= 1	1 組
	うわ水排水工		=	= 1	1 箇所
	排出運搬処理	スライム処理工	=	= 0.06	0.06 m ³

沈下式立坑土留工数量計算書

21路線	No. 21-1	到達立坑	立坑寸法	(内径) = 0.900m	覆土工あり
			(外径) = 1.164m		
			立坑深 = 4.193m		
			掘削深 = 4.493m		
			沈設深 = 3.193m		



コンクリート ブロック	刃口	φ 900	H=	0.20 m/個	=	個
	沈設ブロック	φ 900	H=	1.50 m/個	=	個
	沈設ブロック	φ 900	H=	1.80 m/個	=	個
	増設ブロック	φ 900	H=	0.60 m/個	=	個
	増設ブロック	φ 900	H=	0.90 m/個	=	個
	底盤ブロック	φ 900	H=	0.30 m/個	=	個
	沈下防止治具	φ 900用		=		式
	振れ止め治具	φ 900用		=		式
	F R P 製踊り場	φ 900		=		個
	滑材注入工	2.993	×	0.19 m ³ /m	=	m ³
底盤ブロック設置工			=		箇所	
底盤グラウト工	0.04	m ³ /箇所		=	箇所	
沈設ステーヂ	φ 900用 (受枠付)	3.48 t	=		組	
溶接工	1.1m/箇所×0		=		m	
インハートコンクリート工	インハートコンクリート高	0.30 + (0.20×1/2)	=	0.40		
	$\pi / 4 \times 0.90^2 \times 0.40$		=	0.25		
	控除 1/2× π /4×0.200 ² ×0.45×2		=	-0.01		
			=	0.24	0.24 m ³	
モルタル上塗り工	$\pi / 4 \times 0.90^2$		=	0.64		
	1/2× π ×0.200×0.45×2		=	0.28		
	控除 0.20×0.45×2		=	-0.18		
			=	0.74	0.74 m ²	
ステップ取付工	FRP製梯子式(付属品)	0.00-0.80	=		m	
覆工	円形覆工板 φ 2000用		=		組	
うわ水排水工			=		箇所	
排出運搬処理	スライム処理工		=		m ³	

沈下式立坑土工数量集計表

○立坑土工

項 目 立 坑	土 工						備 考
	掘 削				埋戻し (RC-40) (m3)	残土 (m3)	
	一次掘削 沈設ステージ 設置工 (m3)	二次掘削		合 計 (m3)			
		(m)	(m3)				
20路線 No. 20-1	4.77	3.14	3.95	8.72	2.52	8.72	φ 900 到達立坑
20路線 No. 20-3	4.77	3.09	3.88	8.65	2.60	8.65	φ 900 到達立坑
合計	9.54	6.23	7.83	17.37	5.12	17.37	

沈下式立坑土工数量計算表

	20路線 No.20-1	φ900 到達立坑
名 称	算 式	数 量
1. 掘削工		
①掘 削 深	4.645 m	4.65 m
②一次掘削 (沈設ステージ設置工)	$\pi/4 \times 2.090^2 \times (1.500 - 0.110)$	4.77 m ³
③二次掘削 (沈下掘削積込工)	$\pi/4 \times 1.264^2 \times 3.145$	3.95 m ³
掘削合計(②+③) [発生土処理]	4.77+3.95	8.72 m ³
2. 埋戻工		
①埋 戻 (路盤下まで)	$\pi/4 \times 2.090^2 \times (1.500 - 0.480)$	3.50 m ³
②埋戻控除		
a. 沈設フロッカ	$\pi/4 \times 1.164^2 \times (1.500 - 0.745)$	0.80 m ³
b. マンホール直壁		
c. マンホール斜壁	$\pi/4 \times (1.050^2 + 0.820^2) \times 1/2 \times (0.745 - 0.480)$	0.18 m ³
d. 調整リング		
③埋戻控除合計 a+b+c+d	0.80+0.18	0.98 m ³
埋戻量(①-③) (RC-40)	3.50-0.98	2.52 m ³
3. 残土 掘削-埋戻必要土量	8.72	8.72 m ³

沈下式立坑土工数量計算表

	20路線 No.20-3	φ900 到達立坑
名 称	算 式	数 量
1. 掘削工		
①掘 削 深	4.591 m	4.59 m
②一次掘削 (沈設ステージ設置工)	$\pi/4 \times 2.090^2 \times (1.500 - 0.110)$	4.77 m ³
③二次掘削 (沈下掘削積込工)	$\pi/4 \times 1.264^2 \times 3.091$	3.88 m ³
掘削合計(②+③) [発生土処理]	4.77+3.88	8.65 m ³
2. 埋戻工		
①埋 戻 (路盤下まで)	$\pi/4 \times 2.090^2 \times (1.500 - 0.480)$	3.50 m ³
②埋戻控除		
a. 沈設フロツカ	$\pi/4 \times 1.164^2 \times (1.500 - 0.991)$	0.54 m ³
b. マンホール直壁		
c. マンホール斜壁	$\pi/4 \times (1.050^2 + 0.820^2) \times 1/2 \times (0.991 - 0.480)$	0.36 m ³
d. 調整リング		
③埋戻控除合計 a+b+c+d	0.54+0.36	0.90 m ³
埋戻量(①-③) (RC-40)	3.50-0.90	2.60 m ³
3. 残土 掘削-埋戻必要土量	8.65	8.65 m ³

西流下河南 1 号污水管渠築造工事

数 量 計 算 書

【開削工法】

令和 7 年 6 月

石巻市建設部下水道建設課

西流下河南 1 号污水管渠築造工事

数 量 総 括 表 【開削】

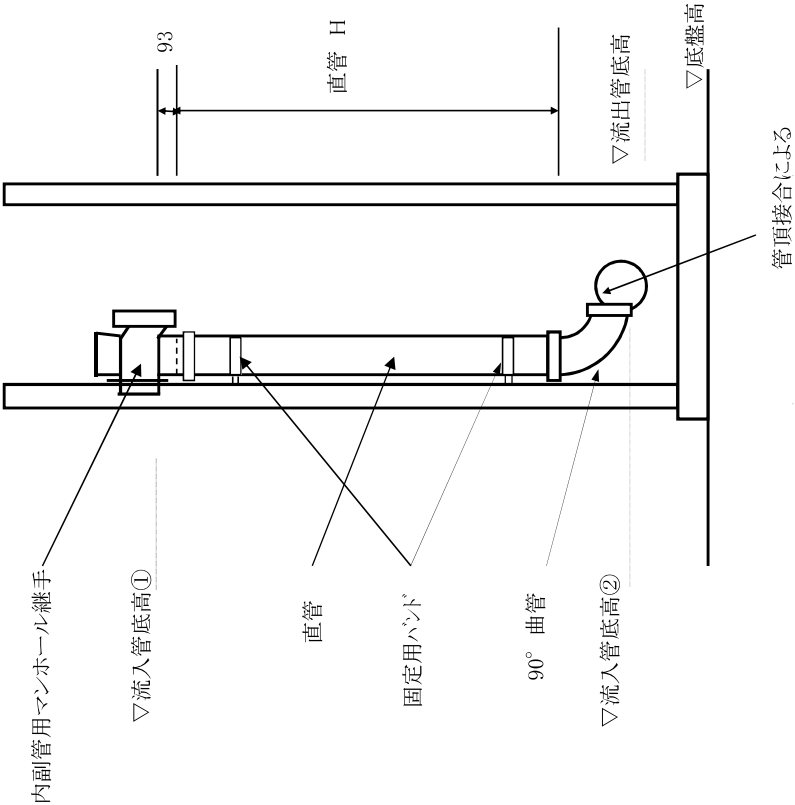
工種	種別	細別・規格	数量	設計数量	単位	備考
路線延長	PRP φ 150	下水道用リブ付硬質塩化ビニル管	14.00	14.00	m	
管渠延長	PRP φ 150	下水道用リブ付硬質塩化ビニル管	13.85	13.85	m	
管路土工	管路掘削	機械掘削 BH0.28m³（山積）	18.3	18	m³	
	管路埋戻	再生砕石RC-40 基礎材 管周り+管頂10cm	2.9	2	m³	
	管路埋戻	再生砕石RC-40 埋戻材 BH0.28m³（山積）	9.1	9	m³	
	発生土処理	土砂 4 t 積 BH0.28m³ 運搬距離 L=2.2km	18.3	18	m³	
管布設工	リブ付硬質 塩化ビニル管	φ 150 L=4.0m/本	13.85	13.8	m	
	継手類	リブ用可とう継手 φ 150	1.0	1	個	本管部
		可とう継手（塩ビ管用） φ 100	1.0	1	個	取付管部
	埋設標識テープ	下水道用W=150 シングル	13.85	13	m	
管基礎工	砕石基礎	再生砕石RC-40 管下t=10cm 掘削幅W=90cm	13.85	13.8	m	
管路土留工	建込簡易土留	建込み長 H=1.50m	14.0	14	m	
		建込み長 H=2.00m	-	-	m	
		建込み長 H=2.50m	-	-	m	
		建込み長 H=3.00m	-	-	m	
		建込み長 H=3.50m	-	-	m	
	軽量鋼矢板土留	土留長 H=1.50m	-	-	m	
		土留長 H=2.00m	-	-	m	
		土留長 H=2.50m	-	-	m	
土留長 H=3.00m		-	-	m		
組立マンホール工	組立0号マンホール	内径750mm	-	-	箇所	
		マンホール深 2m以下	-	-	箇所	
		マンホール深 2m超～3m以下	-	-	箇所	
		マンホール深 3m超～5m以下	-	-	箇所	
	組立1号マンホール	内径900mm	-	-	箇所	
		マンホール深 2m以下	-	-	箇所	
		マンホール深 2m超～3m以下	-	-	箇所	
		マンホール深 3m超～4m以下	-	-	箇所	
レジン製小型マンホール		内径300mm	1	1	箇所	
取付管土工	管路掘削	機械掘削 BH0.13m³（山積）	0.8	0.8	m³	
	管路埋戻	砕砂 基礎材	0.2	0.2	m³	
	管路埋戻	再生砕石RC-40 埋戻材	0.1	0.1	m³	
	発生土処理	土砂 2 t 積 BH0.13m³ 運搬距離 L=2.2km	0.8	0.8	m³	
ます設置工	ます	ます径200mm	1	1	箇所	
取付管布設工	取付管	塩ビ管 φ 100mm	1	1	箇所	
		延長（L）L<3.0m	1	1	箇所	
		延長（L）3.0m≤L<5.0m	-	-	箇所	
		延長（L）5.0m≤L<12.0m	-	-	箇所	

レジンコンクリート製小型マンホール数量集計表 【開削】

工種	種別	細別・規格	数量	設計数量	単位	備考
小型マンホール工	小型マンホール設置工	レジンコンクリート製 設置深さ1.50m以下	1	1	箇所	
		レジンコンクリート製 設置深さ2.00m以下			箇所	
		レジンコンクリート製 設置深さ2.50m以下			箇所	
		合計	1	1	箇所	
	鉄蓋	レジンコンクリート製 φ300 T-25	1	1	箇所	
	調整リング	小型レジンコンクリート製 H=50	1	1	個	
	上部壁A	小型レジンコンクリート製 H=200	1	1	個	
	直壁B	小型レジンコンクリート製 H=100			個	
		小型レジンコンクリート製 H=150	1	1	個	
		小型レジンコンクリート製 H=300			個	
		小型レジンコンクリート製 H=400			個	
		小型レジンコンクリート製 H=500			個	
		小型レジンコンクリート製 H=600	1	1	個	
		小型レジンコンクリート製 H=900			個	
	管取付壁C	小型レジンコンクリート製 φ150用 H=370	1	1	個	
	底版P	小型レジンコンクリート製 H=70	1	1	個	
	アダプターセット	φ150 流入	1	1	個	
		φ150 流出	1	1	個	
	碎石基礎工	基礎碎石 t=20cm RC-40	0.24	0.24	m2	0.24m ² ×1箇所

内 副 管 工 (副管径100mm)

◎構造図



人 孔 番 号	No.20-1				計
路 線 番 号	S20				
流 出 管 底	-0.545				
流 入 管 底 ①	2.012				
流 入 管 底 ②	-0.495				
副 管 高	2.557				
内副管用継手	1				1 個
直 管 (VU100)	2.2				2.2 m
90° 曲 管	1				1 個
固 定 バ ン ド	3				3 個

汚水枡および取付管 数量集計表【開削】

路線番号	取付戸数	取付総延長	掘削延長	土 工				碎石防護シート	備 考
				掘削土量	基礎材(砕砂)	埋戻し材(RC-40)	発生土処分		
	個	m	m	m ³	m ³	m ³	m ³	枚	
新設路線	1	2.0	1.5	0.8	0.2	0.1	0.8	2	(BH0.13m3)
合計	1	2.0	1.5	0.8	0.2	0.1	0.8	2	
設計数量	1	2	1	0.8	0.2	0.1	0.8	2	

取付管延長	新設路線		合計	汚水枡設置個数合計	
L<3.0m	1		1 箇所	1	箇所
3.0m≤L<5.0m	-		- 箇所	-	箇所
5.0m≤L<12.0m	-		- 箇所	-	箇所
合 計	1		1 箇所	1	箇所

取付管推進工数量集計表

工 種	種 別	細 別	単位		
				住居(15)	合 計
さや管推進工法			m		
	推進延長		m	11.19	11.19
	推進用鋼製さや管	鋼管φ200 L=0.5m/本	本	23	23
	硬質塩化ビニル管	VUφ100 L=4.0m/本	本	3.0	3.0
	塩ビソケット		個	12	12
	スペーサージョイント		個	11	11
	先端加工		基	1	1
	さや管推進工		m	11.19	11.19
	塩ビ管挿入工		m	11.99	11.99
	中詰注入工	MCグラウト	m3	0.24	0.24
	排土工		m	11.19	11.19
	推進機組立据付工		箇所	1	1
	推進機械撤去工		箇所	1	1
	鏡切り工		箇所	1	1
	発生土処分工		m3	0.35	0.35
ケーシング管推進工法					
	推進延長		m	2.94	2.94
	硬質塩化ビニル管	VUφ500 L=4.0m/本	本	1	1
	硬質塩化ビニル管継手		個	1	1
	汚水柵	フリーインバート柵φ200	個	1	1
	汚水柵蓋	φ200用	個	1	1
	ケーシング管推進工		m	2.94	2.94
	塩ビ管挿入工		m	2.74	2.74
	排土工		m	2.94	2.94
	埋戻工	埋戻用砂	m3	0.47	0.47
	発生土処分工		m3	0.58	0.58

名 称	算 式	数 量
取付管推進工	施工箇所 住居(15)	
さや管推進工法		
推進延長	=	11.19 m
1. 推進用鋼製さや管	鋼管φ200 L=0.5m/本 =	23 本
2. 硬質塩化ビニル管	VPφ100 L=4.0m/本 =	3.0 本
3. 塩ビソケット	=	12 個
4. スペーサージョイント	=	11 個
5. 先端加工	=	1 基
6. さや管推進工	=	11.19 m
7. 塩ビ管挿入工	=	11.99 m
8. 中詰注入工	MCグラウト $\pi/4 \times (0.200^2 - 0.114^2) \times 11.19 \text{ m}$ =	0.24 m ³
9. 排土工	=	11.19 m
10. 推進機組立据付工	=	1 箇所
11. 推進機撤去工	=	1 箇所
12. 鏡切り工	=	1 箇所
13. 発生土処分工	$\pi/4 \times 0.200^2 \times 11.19 \text{ m}$ =	0.35 m ³
ケーシング管推進工法		
推進延長	=	2.94 m
1. 硬質塩化ビニル管	VUφ500 L=4.0m/本 =	1 本
2. 硬質塩化ビニル管継手	=	1 個
3. 汚水樹	フリーインバート樹φ200 =	1 個
4. 汚水樹蓋	φ200用 =	1 個
5. ケーシング管推進工	=	2.94 m
6. 塩ビ管挿入工	=	2.74 m
7. 排土工	=	2.94 m
8. 埋戻工	埋戻用砂 $\pi/4 \times (0.500^2 - 0.216^2) \times 2.94 \text{ m}$ =	0.47 m ³
9. 発生土処分工	$\pi/4 \times 0.500^2 \times 2.94 \text{ m}$ =	0.58 m ³

付帯工 数量集計表

工種	種別	細別・規格	数量	設計数量	単位	備考
舗装撤去工	舗装版切断	t=15cm以下	90.7	91	m	
	舗装版破碎	t=15cm以下	58.5	59	m ²	58.5 + = 58.5
	殻運搬処理		6.4	6	m ³	6.4 + + = 6.4
	殻運搬処理	路面切削			m ³	
舗装復旧工	不陸整正	補充材あり t=3cm	26.5	27	m ²	
		補充材なし			m ²	
	路盤工	t=37cm	29.8	30	m ²	
		t=27cm			m ²	
	表層工 (仮復旧)	再生AS安定処理 t=11cm	29.8	30	m ²	
	表層工 (仮復旧)	再生AS安定処理 t=3cm			m ²	
	上層路盤	再生AS安定処理 t=6cm	26.5	27	m ²	
	表層工 (本復旧)	再生密粒度AS20F t=5cm 3.0m ≤ b	26.5	27	m ²	
区画線工	区画線設置工	熔融式 白色・実線 W=15cm	3.2	3	m	
		熔融式 白色・実線 W=30cm			m	
		熔融式 矢印・記号・文字			m	

鋼製ケーシング式立坑付帯工数量集計表

○立坑付帯工（県道（主要地方道））

項 目 立 坑	舗装撤去工				仮 復 旧 工		本 復 旧 工			
	舗 装 版 切 断 15cm以下 (m)	舗 装 版 破 砕 15cm以下 (m2)	殻運搬 (m3)	殻処分 (t)	路 盤 工 再生クラッシャーラン RC-40 t=37cm (m2)	表 層 工 再生As安定処理 t=11cm (m2)	不 陸 整 正 補充材 再生クラッシャーラン RC-40 (m2)	上 層 路 盤 工 再生As安定処理 t=6cm (m2)	表 層 工 再生密粒度As20F t=5cm (m2)	
20路線 No. 20-2	8.10	4.10	0.45	1.06	3.57	3.57	-	-	-	小型φ2000 両発進立坑
20路線 No. 20-4	8.10	4.10	0.45	1.06	3.57	3.57	-	-	-	小型φ2000 両発進立坑
21路線 No. 21-2	12.80	9.70	1.07	2.51	-	-	9.70	9.70	9.70	小型φ2000 両発進立坑
計	29.00	17.90	1.97	4.63	7.14	7.14	9.70	9.70	9.70	

鋼製ケーシング式立坑付帯工数量計算表

	20路線 No. 20-2 県 道 (主 要 地 方 道)	小型φ2000 両発進立坑
名 称	算 式	数 量
1. 舗装撤去工	アスファルト舗装版	
a) 舗装版切断 (t=15cm以下)	$(2.024+2.024) \times 2$	8.10 m
b) 舗装版破碎 (t=15cm以下)	2.024×2.024	4.10 m ²
c) 殻運搬	$4.10 \times (0.05+0.06)$	0.45 m ³
2. 仮復旧工	アスファルト舗装	
a) 路盤工 (再生クラッシャーラン RC-40 t=37cm)	$2.024 \times 2.024 - \pi/4 \times 0.82^2$	3.57 m ²
b) 表層工 (再生As安定処理 t=11cm)	$2.024 \times 2.024 - \pi/4 \times 0.82^2$	3.57 m ²
3. 本復旧工	アスファルト舗装	
a) 舗装版切断 (t=15cm以下)		
b) 舗装版破碎 (t=15cm以下)		
c) 殻運搬		
d) 不陸整正(補充材) (再生クラッシャーラン RC-40)		
e) 上層路盤工 (再生As安定処理 t=6cm)		
f) 表層工 (再生密粒度As20F t=5cm)		
4. 舗装撤去工 (集計)	アスファルト舗装版	
a) 舗装版切断 (t=15cm以下)	$8.10+0.00$	8.10 m
b) 舗装版破碎 (t=15cm以下)	$4.10+0.00$	4.10 m ²
c) 殻運搬	$0.45+0.00$	0.45 m ³
d) 殻処分	0.45×2.35	1.06 t

鋼製ケーシング式立坑付帯工数量計算表

	20路線 No. 20-4 県 道 (主 要 地 方 道)	小型φ2000 両発進立坑
名 称	算 式	数 量
1. 舗装撤去工	アスファルト舗装版	
a) 舗装版切断 (t=15cm以下)	$(2.024+2.024) \times 2$	8.10 m
b) 舗装版破碎 (t=15cm以下)	2.024×2.024	4.10 m ²
c) 殻運搬	$4.10 \times (0.05+0.06)$	0.45 m ³
2. 仮復旧工	アスファルト舗装	
a) 路盤工 (再生クラッシャーラン RC-40 t=37cm)	$2.024 \times 2.024 - \pi/4 \times 0.82^2$	3.57 m ²
b) 表層工 (再生As安定処理 t=11cm)	$2.024 \times 2.024 - \pi/4 \times 0.82^2$	3.57 m ²
3. 本復旧工	アスファルト舗装	
a) 舗装版切断 (t=15cm以下)		
b) 舗装版破碎 (t=15cm以下)		
c) 殻運搬		
d) 不陸整正(補充材) (再生クラッシャーラン RC-40)		
e) 上層路盤工 (再生As安定処理 t=6cm)		
f) 表層工 (再生密粒度As20F t=5cm)		
4. 舗装撤去工 (集計)	アスファルト舗装版	
a) 舗装版切断 (t=15cm以下)	$8.10+0.00$	8.10 m
b) 舗装版破碎 (t=15cm以下)	$4.10+0.00$	4.10 m ²
c) 殻運搬	$0.45+0.00$	0.45 m ³
d) 殻処分	0.45×2.35	1.06 t

鋼製ケーシング式立坑付帯工数量計算表

	21路線 No. 21-2 県 道 (主 要 地 方 道)	小型φ2000 両発進立坑
名 称	算 式	数 量
1. 舗装撤去工	アスファルト舗装版	
a) 舗装版切断 (t=15cm以下)		
b) 舗装版破碎 (t=15cm以下)		
c) 殻運搬		
2. 仮復旧工	アスファルト舗装	
a) 路盤工 (再生クラッシャーラン RC-40 t=37cm)		
b) 表層工 (再生As安定処理 t=11cm)		
3. 本復旧工	アスファルト舗装	
a) 舗装版切断 (t=15cm以下)	舗装復旧工図より	12.80 m
b) 舗装版破碎 (t=15cm以下)	舗装復旧工図より	9.70 m ²
c) 殻運搬	舗装復旧工図より	1.07 m ³
d) 不陸整正(補充材) (再生クラッシャーラン RC-40)	舗装復旧工図より	9.70 m ²
e) 上層路盤工 (再生As安定処理 t=6cm)	舗装復旧工図より	9.70 m ²
f) 表層工 (再生密粒度As20F t=5cm)	舗装復旧工図より	9.70 m ²
4. 舗装撤去工 (集計)	アスファルト舗装版	
a) 舗装版切断 (t=15cm以下)	0.00+12.80	12.80 m
b) 舗装版破碎 (t=15cm以下)	0.00+9.70	9.70 m ²
c) 殻運搬	0.00+1.07	1.07 m ³
d) 殻処分	1.07×2.35	2.51 t

沈下式立坑付帯工数量集計表

○立坑付帯工（県道（主要地方道））

項 目 立 坑	舗装撤去工				仮 復 旧 工		本 復 旧 工			区画線工	備 考
	舗 装 版 切 断 15cm以下 (m)	舗 装 版 破 砕 15cm以下 (m2)	般運搬 (m3)	般処分 (t)	路 盤 工 再生クラッシャーラン RC-40 t=37cm (m2)	表 層 工 再生As安定処理 t=11cm (m2)	不 陸 整 正 補 充 材 再生クラッシャーラン RC-40 (m2)	上 層 路 盤 工 再生As安定処理 t=6cm (m2)	表 層 工 再生密粒度As20F t=5cm (m2)	区 画 線 実線, W=15cm t=5cm (m2)	
20路線 No. 20-1	8.80	4.84	0.53	1.25	4.31	4.31	-	-	-	-	沈設φ900 到達立坑
20路線 No. 20-3	8.80	4.84	0.53	1.25	4.31	4.31	-	-	-	-	沈設φ900 到達立坑
21路線 No. 21-1	14.00	16.80	1.85	4.35	-	-	16.80	16.80	16.80	3.20	沈設φ900 到達立坑
計	31.60	26.48	2.91	6.85	8.62	8.62	16.80	16.80	16.80	3.20	

沈下式立坑付帯工数量計算表

	20路線 No. 20-1 県 道 (主 要 地 方 道)	沈設φ900 到達立坑
名 称	算 式	数 量
1. 舗装撤去工	アスファルト舗装版	
a) 舗装版切断 (t=15cm以下)	$(2.20 + 2.20) \times 2$	8.80 m
b) 舗装版破碎 (t=15cm以下)	2.20×2.20	4.84 m ²
c) 殻運搬	$4.84 \times (0.05 + 0.06)$	0.53 m ³
2. 仮復旧工	アスファルト舗装	
a) 路盤工 (再生クラッシャーラン RC-40 t=37cm)	$2.20 \times 2.20 - \pi/4 \times 0.82^2$	4.31 m ²
b) 表層工 (再生As安定処理 t=11cm)	$2.20 \times 2.20 - \pi/4 \times 0.82^2$	4.31 m ²
3. 本復旧工	アスファルト舗装	
a) 舗装版切断 (t=15cm以下)		
b) 舗装版破碎 (t=15cm以下)		
c) 殻運搬		
d) 不陸整正(補充材) (再生クラッシャーラン RC-40)		
e) 上層路盤工 (再生As安定処理 t=6cm)		
f) 表層工 (再生密粒度As20F t=5cm)		
4. 舗装撤去工 (集計)	アスファルト舗装版	
a) 舗装版切断 (t=15cm以下)	$8.80 + 0.00$	8.80 m
b) 舗装版破碎 (t=15cm以下)	$4.84 + 0.00$	4.84 m ²
c) 殻運搬	$0.53 + 0.00$	0.53 m ³
d) 殻処分	0.53×2.35	1.25 t

沈下式立坑付帯工数量計算表

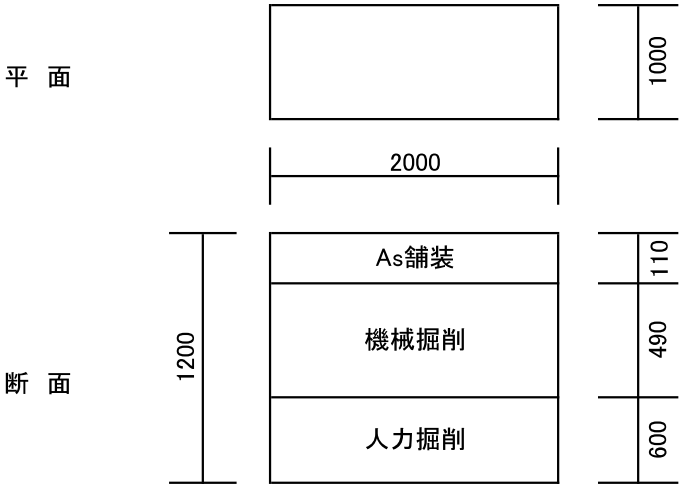
	20路線 No. 20-3 県 道 (主 要 地 方 道)	沈設φ900 到達立坑
名 称	算 式	数 量
1. 舗装撤去工	アスファルト舗装版	
a) 舗装版切断 (t=15cm以下)	$(2.20 + 2.20) \times 2$	8.80 m
b) 舗装版破碎 (t=15cm以下)	2.20×2.20	4.84 m ²
c) 殻運搬	$4.84 \times (0.05 + 0.06)$	0.53 m ³
2. 仮復旧工	アスファルト舗装	
a) 路盤工 (再生クラッシャーラン RC-40 t=37cm)	$2.20 \times 2.20 - \pi/4 \times 0.82^2$	4.31 m ²
b) 表層工 (再生As安定処理 t=11cm)	$2.20 \times 2.20 - \pi/4 \times 0.82^2$	4.31 m ²
3. 本復旧工	アスファルト舗装	
a) 舗装版切断 (t=15cm以下)		
b) 舗装版破碎 (t=15cm以下)		
c) 殻運搬		
d) 不陸整正(補充材) (再生クラッシャーラン RC-40)		
e) 上層路盤工 (再生As安定処理 t=6cm)		
f) 表層工 (再生密粒度As20F t=5cm)		
4. 舗装撤去工 (集計)	アスファルト舗装版	
a) 舗装版切断 (t=15cm以下)	$8.80 + 0.00$	8.80 m
b) 舗装版破碎 (t=15cm以下)	$4.84 + 0.00$	4.84 m ²
c) 殻運搬	$0.53 + 0.00$	0.53 m ³
d) 殻処分	0.53×2.35	1.25 t

沈下式立坑付帯工数量計算表

	21路線 No. 21-1 県 道 (主 要 地 方 道)	沈設φ900 到達立坑
名 称	算 式	数 量
1. 舗装撤去工	アスファルト舗装版	
a) 舗装版切断 (t=15cm以下)		
b) 舗装版破碎 (t=15cm以下)		
c) 殻運搬		
2. 仮復旧工	アスファルト舗装	
a) 路盤工 (再生クラッシャーラン RC-40 t=37cm)		
b) 表層工 (再生As安定処理 t=11cm)		
3. 本復旧工	アスファルト舗装	
a) 舗装版切断 (t=15cm以下)	舗装復旧工図より	14.00 m
b) 舗装版破碎 (t=15cm以下)	舗装復旧工図より	16.80 m ²
c) 殻運搬	舗装復旧工図より	1.85 m ³
d) 不陸整正(補充材) (再生クラッシャーラン RC-40)	舗装復旧工図より	16.80 m ²
e) 上層路盤工 (再生As安定処理 t=6cm)	舗装復旧工図より	16.80 m ²
f) 表層工 (再生密粒度As20F t=5cm)	舗装復旧工図より	16.80 m ²
g) 区画線工 (白色・実線 W=5cm)	舗装復旧工図より	3.20 m
4. 舗装撤去工 (集計)	アスファルト舗装版	
a) 舗装版切断 (t=15cm以下)	0.00+14.00	14.00 m
b) 舗装版破碎 (t=15cm以下)	0.00+16.80	16.80 m ²
c) 殻運搬	0.00+1.85	1.85 m ³
d) 殻処分	1.85×2.35	4.35 t

試掘工 数量

1. 標準断面



2. 数量

				1箇所当り
工 種	規 格	数量計算	単 位	数 量
As 切 断 工	15cm以下	$(2.0+1.0)*2$	m	6.0
As 取 壊 工	15cm以下	$2.0*1.0$	m ²	2.0
As 殻 運 搬	Dt2t、10.1km	$2.0*1.0*0.11$	m ³	0.2
As 殻 処 分			m ³	0.2
掘 削 工	BH0.13m ³	$2.0*1.0*0.49$	m ³	1.0
掘 削 工	人力	$2.0*1.0*0.60$	m ³	1.2
埋 戻 工	BH0.13m ³ 、発生土	$2.0*1.0*0.71$	m ³	1.4
発生土処分工	BH0.13m ³ 、2t L=2.2km	$(1.0+1.2)*1.4$	m ³	0.8
路 盤 工	歩道、t=37cm	$2.0*1.0$	m ²	2.0
仮 復 旧 工	人力、車道、As再安、t=11cm	$2.0*1.0$	m ²	2.0
交通誘導員B	昼間		人	

※別途、仮設工（安全費）に計上

試掘施工箇所 5 箇所(マンホール設置・水道管理設部 等)